

蘭学の泉はここに！
～前野良沢と蘭学の里・中津を顕彰～

2018年NHK正月時代劇が、江戸時代の中津藩医・前野良沢を主人公とする「風雲児たち～蘭学革命（れぼりゅうし）篇～」に決まったことを受け、12月31日に前野良沢役を演じる片岡愛之助さん他出演者のみなさんを中津文化会館にお招きし「放送前日プレミアムトーク！in中津」を開催します。

また、協賛特別展として、大江医家史料館で「『解体新書』と前野良沢」を開催します。中津の城下町に残る江戸時代・中津藩医のお屋敷で、「解体新書」初版本をはじめとした前野良沢・蘭学の歴史を語る品々を展示します。

1. NHK正月時代劇「風雲児たち～蘭学革命篇～」放送前日プレミアムトーク！in中津

■日時 12月31日(日) 14時30分～

■場所 中津文化会館 大ホール

■出演者



片岡 愛之助（前野良沢 役）



長野 里美（良沢の妻・珉子 役）



栗原 英雄（奥平昌鹿 役）



大野 泰広
（良沢の弟子・大槻玄沢 役）



小栗 さくら (MC)

2. NHK正月時代劇「風雲児たち～蘭学革命篇～」協賛特別展『解体新書』と前野良沢

前野良沢が書いた本の写本である「魯西亜本紀」(九州初公開)のほか、福澤諭吉が手にし涙した「蘭学事始」の基となった「和蘭事始」の原本などを展示！いずれもこの機会を逃すと、次はいつ見ることができかわからない大変貴重な資料です。(別紙参照)

■期間 平成29年12月6日(水)～平成30年2月12日(月)

※ 12月28日～1月3日は無料開放します。

■開館時間 9時～17時(入館は16時30分まで)

■場所 大江医家史料館(中津市鷹匠町)

■入館料 一般210円(団体30人以上120円)、高大生100円(団体30人以上60円)
中学生以下無料

■休館日 毎週火曜日(祝日の場合は翌日)



解体新書



大江医家史料館



和蘭事始



前野良沢の肖像画

【関連イベント】記念 ギャラリートーク

■日時 12月16日(土) 13時30分～(1時間程度)

■場所 大江医家史料館展示室

■講師 ヴォルフガング＝ミヒエル氏(九州大学名誉教授)

■講師プロフィール

1946年ドイツ生まれ。フランクフルト大学大学院卒業後来日、九州大学助手から同大助教授、同大学院教授、副学長を歴任後、現職。博士(文化科学)。専門は日欧交流史・医史学。中津市では毎年医学史料の整理研究を行い、『中津市歴史民俗史料館分館医家史料館 資料叢書』を執筆刊行している。

3. 中津と蘭学

「蘭学の泉はここに」。中津藩江戸屋敷の跡には、このような言葉で始まる石碑があります。中津の蘭学は前野良沢にはじまり、蘭学や医学の歴史に大きな足跡を残す人々が輩出されました。

良沢が仕えた中津藩主・奥平昌鹿は蘭学を奨励し、良沢の偉業の礎となっています。また、同じく良沢が仕えた中津藩主・奥平昌高は、「蘭語訳撰」（日蘭辞書）と「中津バスタールド辞書」（蘭日辞書）を刊行しました。この2冊の姉妹辞書は「中津辞書」と呼ばれています。

4. NHK正月時代劇「風雲児たち～蘭学革命（れぼりゅうし）篇～」

前野良沢と杉田玄白による「蘭学事始」。史上初の西洋医学書の和訳に一心同体で取り組んだ二人は、鎖国ど真ん中の江戸中期に革命的な翻訳を成し遂げます。しかし、刊行された「解体新書」になぜか良沢の名は載らず、名声は玄白だけのものとなりました。二人の間にいったい何が起きたのか…。

みなもと太郎さんの大河歴史ギャグ漫画を原作に、笑いとサスペンスに満ちた新しい三谷流歴史ドラマが誕生します。

■放送局 NHK 総合

■日時 平成30年1月1日（月・祝）
19時20分～（89分）

■原作 みなもと太郎「風雲児たち」

■脚本 三谷幸喜



5. 問合せ先

【放送前日プレミアムトーク！in 中津について】

中津市ロケツーリズム推進協議会事務局（中津市秘書広報課内） 担当：久保
（TEL：0979-22-1111・内線781）

【協賛特別展「『解体新書』と前野良沢」について】

中津市教育委員会社会教育課文化財室 担当：高崎・曾我
（TEL：0979-22-1111・内線602）

【別紙】『解体新書』と前野良沢 資料リスト

	資料名	所有・所蔵者	備考	報道等への 写真掲載	概要
1	『カスパル流医学書』	(個人蔵・本館寄託)	初公開	○	日本へはじめて本格的に導入された、本格的な蘭方医学・カスパル流外科の教則本
2	オランダゼンクナイガイブンヨウズ 『和蘭全身内外分合図』	(中津市蔵)		○	17世紀の長崎通詞・本木良意が訳した、見開き絵本状の解剖図。
3	ヒラタチョウタクウメンキョウジョウ 平田長太夫免許状	(中津市蔵)		○	中津につたわった、オランダ商館長のサインが入った蘭方医免許の写し
4	ヨシオリウゲカメンキョ 吉雄流外科免許	(中津市蔵)	初公開	○	良沢の師事した長崎通詞・吉雄耕牛が中津の町医者に与えた外科免許
5	バクタイズ 縛帯図	(中津市蔵)	初公開	○	吉雄耕牛のもとで学ばれた、包帯の使用法をあらわした、紅毛流外科の教則本。
6	前野良沢像	(個人蔵)		○	前野良沢ら江戸時代の医学に影響を与えた3人の医者者の肖像画
7	マエノ リョウタクヨカン フクセイ 前野良沢書簡(複製)	(大分県立先哲史料館蔵)		×	寛政の三奇人・高山彦九郎にあてられた良沢の書簡
8	『ターヘル・アナトミア』	(個人蔵)		○	『解体新書』の原本である、『ターヘル・アナトミア』のドイツ語原書
9	キチュウサツヨウ 『記註撮要』	(中津市立図書館蔵)		○	良沢が長崎へ派遣されたことを示す中津藩の史料
10	ホウレキネンチュウブゲンチョウ 『宝暦年中分限帳』	(個人蔵)	初公開	○	良沢の名が唯一記されている中津藩士の一覧表。
11	『解体新書』	(本館寄託)		○	中津藩医が所持した『解体新書』の初版本
12	チョウテイ 『重訂 解体新書』	(本館寄託)		○	大槻玄沢によって著された、『解体新書』の改訂版
13	『ハルマ 蘭仏辞書』	(個人蔵)		×	良沢たち『解体新書』のグループが利用したとされる蘭仏辞書
14	ヒトヨギリ 一節切	(村上医家史料館蔵)		○	中津藩医・村上家に伝わり、良沢も好んで演奏したとされる尺八のなかま。
15	ロシアホンキ 『魯西亜本紀』	(慶應義塾大学信濃町メディアセンター)	展示1月 5日まで	×	良沢の著作で、ロシアの歴史の概説書。江戸時代の写本。
16	『ズーフ・ハルマ』	(大分県立先哲史料館蔵)		×	長崎ハルマともよばれ、解体新書以降に出版された蘭日辞書。
17	ランガクカイテイ 『蘭学階梯』	(大分県立先哲史料館蔵)		×	良沢の著作をベースに、良沢の弟子・大槻玄沢によって出版された蘭学入門書
18	ヤッケン ハンレイ 『訳鍵 凡例』	(村上医家史料館蔵)		○	江戸時代に刊行された蘭日辞書で、良沢の名を刻む。
19	ランゴヤクセン 『蘭語訳撰』	(中津市立図書館蔵)		○	良沢の弟子であった、中津藩主・奥平昌高によって編さんされた日本初の日蘭辞書。
20	オランダゴトハジメ 『和蘭事始』	(慶應義塾福澤研究センター蔵)		○	福澤諭吉が手に入れ、のちに『蘭学事始』と改題して出版された杉田玄白の手記。
21	『蘭学事始』明治23年版	(個人蔵)		○	福澤諭吉によって上記史料をもとに刊行され、福澤の序文を伴う。
22	『福翁百余話』	(中津市立図書館蔵)		○	福澤諭吉が前野良沢らの功績についてしたためた内容を含む随筆。
23	ランカドウセツリンノモクロミシヨ 『蘭化堂設立の目論見書』	(慶應義塾大学メディアセンター)	展示1月 6日から	×	福澤諭吉が発願した、前野良沢らを顕彰するお堂兼図書館の設立趣意書。